

敷地概要

1.敷地条件

- ①建物名称

市川市立宮田小学校
- ②住 所

市川市新田4丁目1303番1、1304番2
- ③地域地区

近隣商業地域、第1種住居地域
準防火地域、法22条指定区域
第2種高度地区
日影規制 範囲5m超：4h
範囲10m超：2.5h
測定水平面：4m
- ④敷地面積

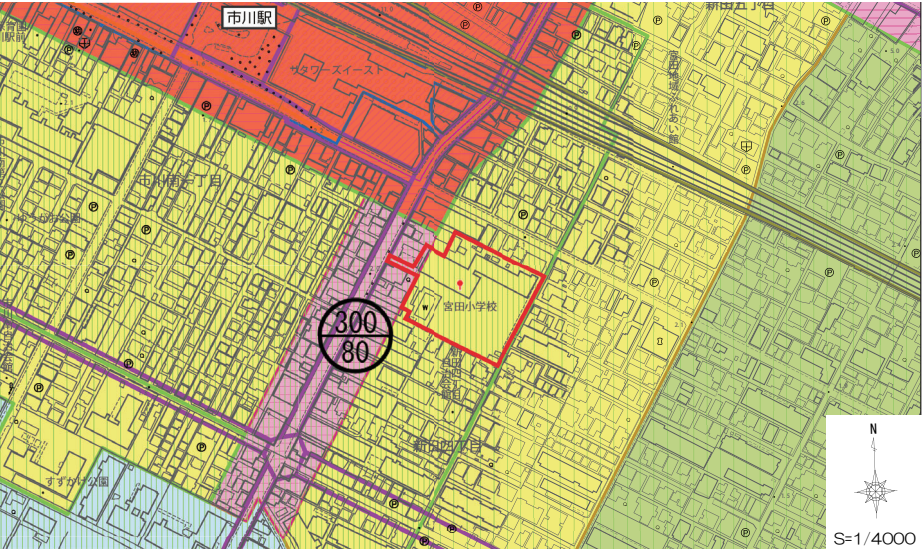
6,395.57㎡
- ⑤容 積 率

300%、200%
- ⑥建ぺい率

80%、60%
- ⑦接道状況

西側道路 市道0119号、幅員12.68m(歩道を含む)
(建築基準法42条第1項第1号)
東側道路 市道5073号、幅員3.21m
(建築基準法42条第2項)

■都市計画図



都市計画区域	市川市都市計画区域
名称	市川市都市計画区域
種別	市川市都市計画区域
用途地域	第一種住居地域
容積率(%)	200
建ぺい率(%)	60
高さ制限(m)	0
高度地区	第一種高度地区
種別	第一種高度地区
地区計画区域	指定なし
名称	指定なし
都市計画区域	市川市都市計画区域
名称	市川市都市計画区域
日影規制区域	市川市都市計画区域
範囲5m~	4.0h
範囲10m~	2.5h
測定水平面	4.0m

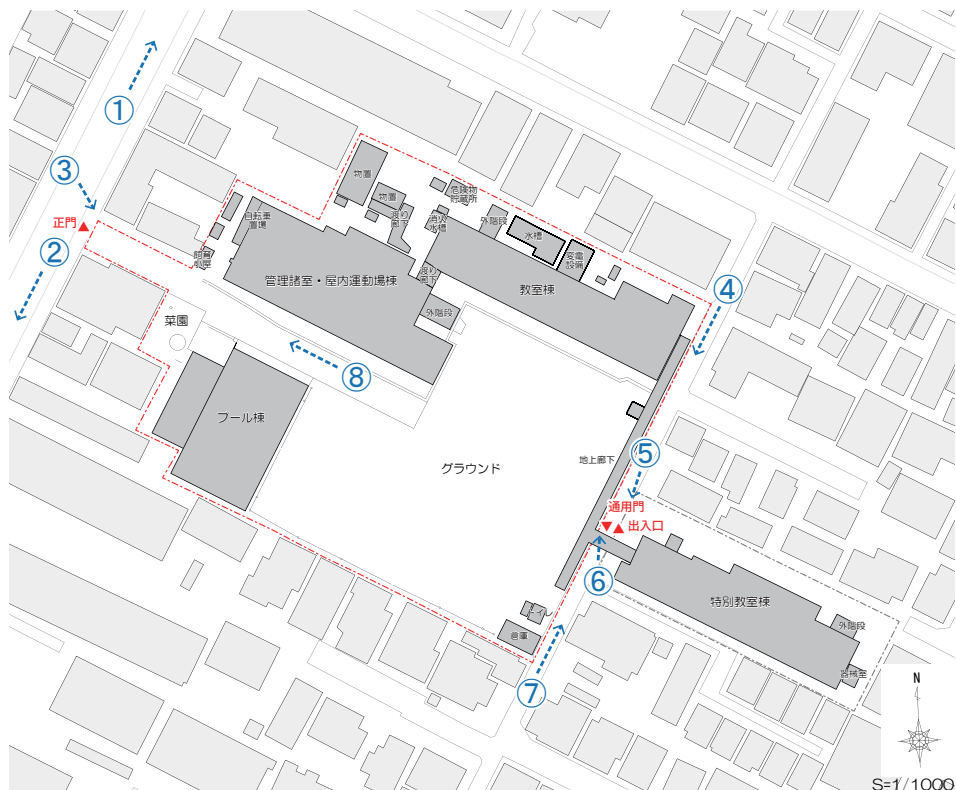
第一種低層住居専用地域	容積率	高度利用地区
第二種低層住居専用地域	建ぺい率	高度地区
第一種中高層住居専用地域	防火地域	生産緑地地区
第二種中高層住居専用地域	準防火地域	都市高速鉄道
第一種住居地域	区域区分	地区計画区域
第二種住居地域	都市計画道路	建築協定区域
近隣商業地域	第一種高度地区	建築協定
商業地域	第二種高度地区	緑地地区
準工業地域	区画整理実施区域	緑地地区
工業地域		
工業専用地域		

2.敷地の特徴

- ・接道は西側と東側で西側の接道は幅6m弱の通路形状で接道している。
- ・近隣建物は、西側に中高層の集合住宅や商店、東・北・南側は2階建てのアパートや個人宅となっている。
- ・敷地には管理諸室・屋内運動場棟、教室棟、プール棟が配置されている。
- ・特別教室棟がある東側の敷地は、道路を横断する渡り廊下で接続しているが、本計画敷地には含まれていない。
- ・門は西側に正門、東側に通用門があり、登下校やサービス動線は正門を使用している。通用門は、主に放課後子ども教室や保育クラブの送り迎えに使用している。



敷地周辺状況



③ 正門前から正門を望む



④ 市道5073号から南西を望む



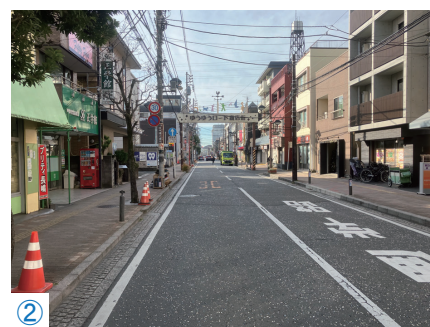
⑤ 市道5073号から特別教室棟を望む



⑥ 市道5073号から通用門を望む



① 正門近くから北西の交差点を望む



② 正門近くから南西を望む



⑦ 市道5073号から北東を望む



⑧ 敷地内から正門を望む

景観計画

1.ゾーン区分

本計画敷地は市川市が定める景観計画において、「市街地ゾーン」に該当する。

景観要素として、中高層住宅、区画整理された市街地、地域の象徴<寺社・公園・巨木・古木など>、大型住宅の建設、が挙げられ、これらに配慮した計画とする。

①特性

「市街地ゾーン」は低層・中高層の住宅や工場、商業・業務施設などの多様な用途の建物で構成されている。かつては水田が多かった地域ではあるが、様々な開発事業により都市化が進み、建物中心の街並みが形成されている。

そのような中、由緒ある寺社、公園、巨木や古木など、地域の表情となる資源が点在している。

②景観要素

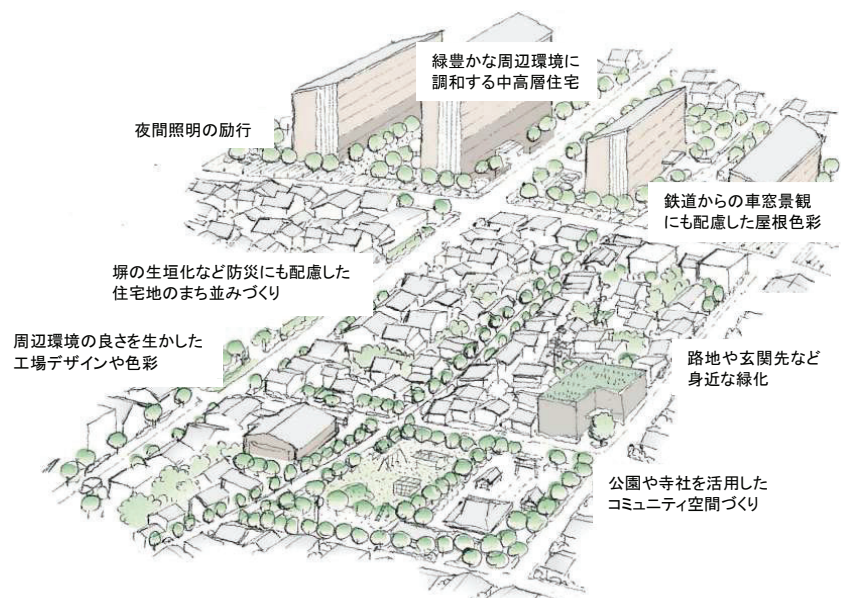
- ・中高層住宅地
- ・区画整理された市街地
- ・地域の象徴<寺社・公園・巨木・古木など>
- ・大型住宅の建設



2.区分別方針

地域の魅力を高める、「豊かな表情」をつくる

由緒ある寺社・広々とした公園・住宅地の巨木・古木など、地域に表情を与える資源を大切に守り育て、個性と愛着のもてるまちづくりを行う。



3.設計による景観計画への配慮

①地域の特性

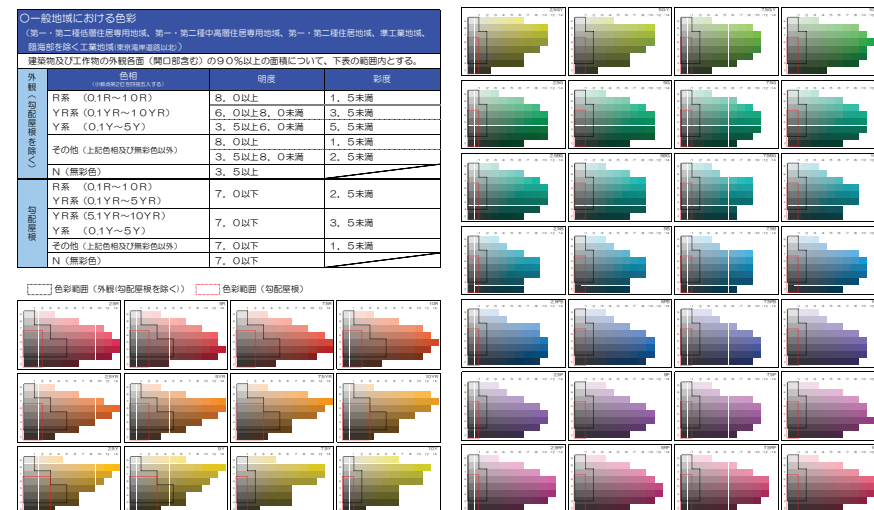
・古くは計画敷地の北側に農地や、防砂林などに利用されたクロマツの松林などによる緑の景観。また南側には水田から広がりのある河川の景観があり、多彩な自然景観に恵まれていた。しかし、近年の市街化により自然景観は喪失・減少している。

②建築物の外観デザイン（基本構想・基本計画におけるコンセプト）

- 1.<Healing>日当たりや通風に配慮した快適な環境、自然に触れる機会の創出
温かみのある木質系の材料、アースカラーをベースとした色彩計画とする。
- 2.<Gravity>人をひきつけ、交流を生む場の創出
内部の活動が表出するデザインとする。
- 3.<Condensation>必要な機能を効率的に配置した上で、宮田小学校らしさを創出
壁面の分節化等を行い大きな壁に見えないデザインとする。
また、複合施設となるため地域のランドマークとなるデザインとする。

③建築物の色彩

・景観計画で指定されている色彩表に沿って計画する。



④屋外広告物

・計画しない。

⑤付帯設備

・屋外配置の設備機器は適切な目隠しなどで覆うなど、景観を阻害しないよう計画する。

配置計画

①基本方針

- ・宮田っ子ひろばやビオトープといった、宮田小ならではの学習環境を継承する。
- ・仮設校舎を設けない建替計画とする。
- ・グラウンド面積は、既存と同程度確保する。

②校舎配置

- ・校舎は敷地南側にまとめ、既存校舎の解体と干渉しないよう配慮した計画とする。
- ・敷地北側にグラウンドを計画し、校舎内への安定した自然採光の確保。敷地北側への日影等の影響を低減する。

③屋外学習環境

- ・敷地北側に整形で、既存グラウンドと同程度の面積を確保する。
- ・敷地西側に宮田っ子ひろばを計画し、田んぼとビオトープを配置する。

④門・アプローチ計画

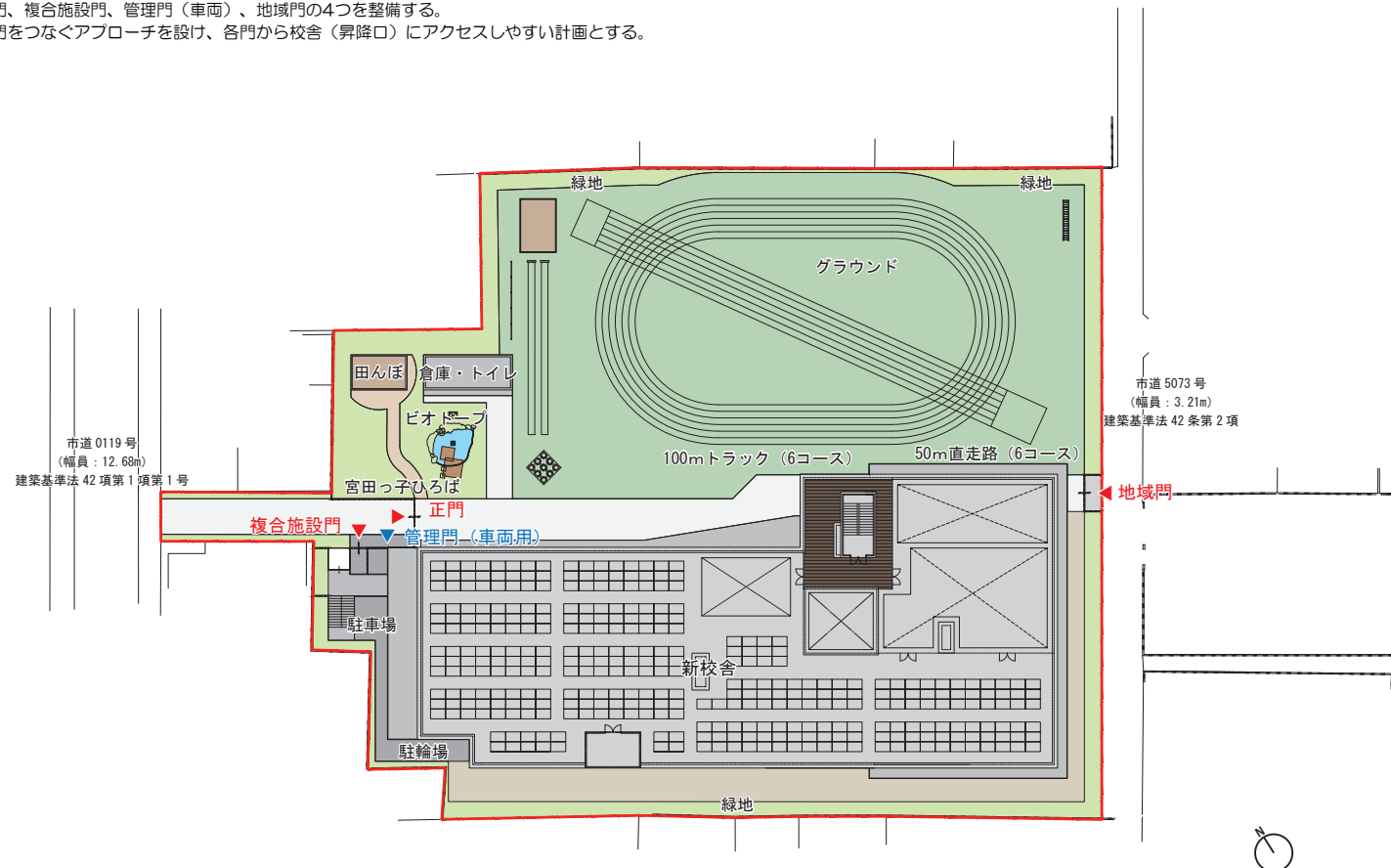
- ・敷地外周部に設ける門は、正門、複合施設門、管理門（車両）、地域門の4つを整備する。
- ・登下校に利用する正門と地域門をつなぐアプローチを設け、各門から校舎（昇降口）にアクセスしやすい計画とする。

⑤駐車場・駐輪場計画

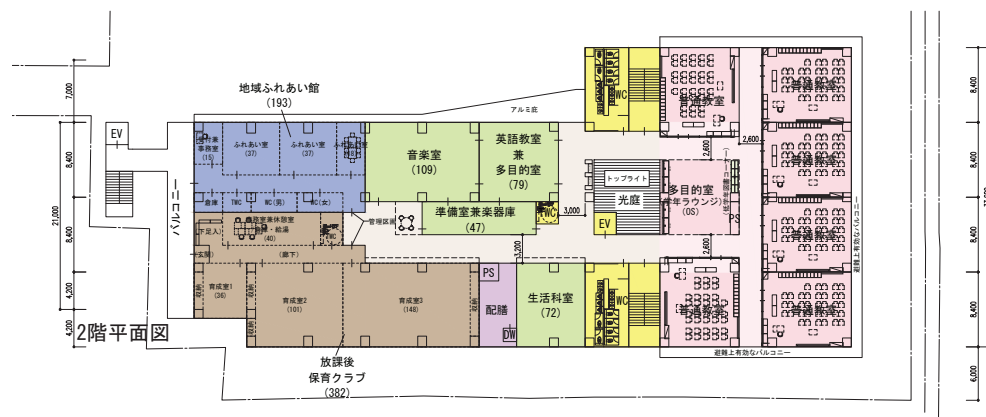
- ・敷地南西側のピロティに駐車場（2台 内車椅子利用者用1台）・駐輪場を設ける。
- ・給食室のための荷捌きスペースは、敷地西側市道からのアクセスと荷捌き利用を考慮し、敷地南西側ピロティ下に配置する。

⑥附帯施設（屋外倉庫・屋外トイレ）

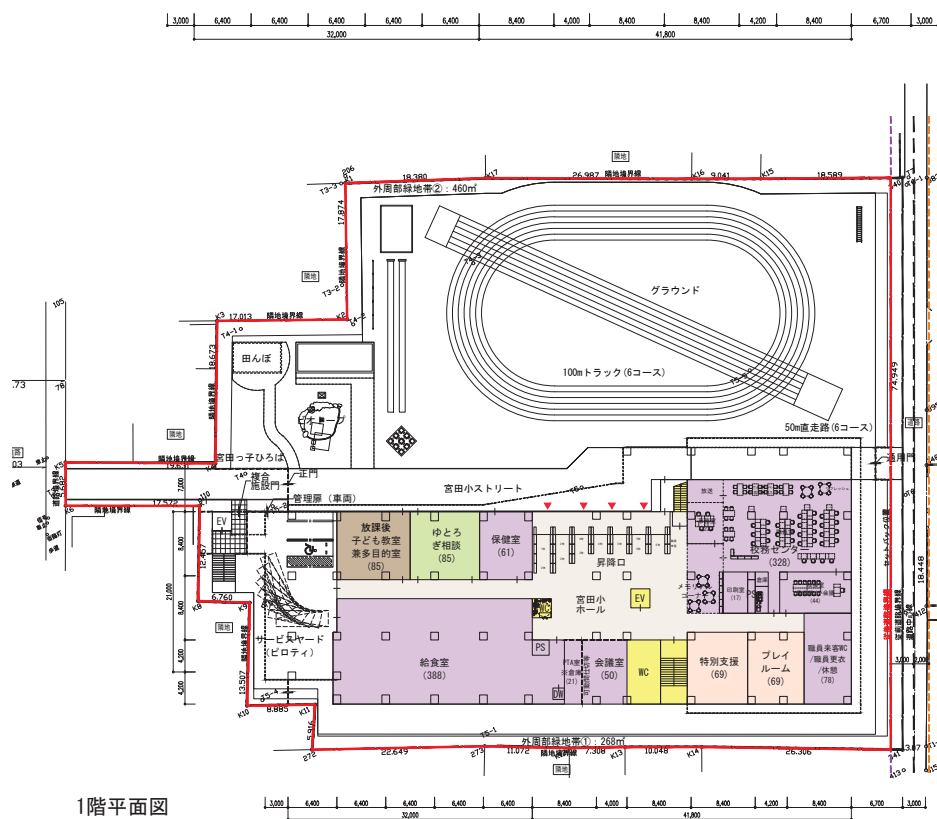
- ・敷地北側のグラウンドから利用しやすい位置に屋外倉庫・屋外トイレを設ける。
- ・防災倉庫としての利用にも配慮し、体育館からアクセスのよい位置に設ける。



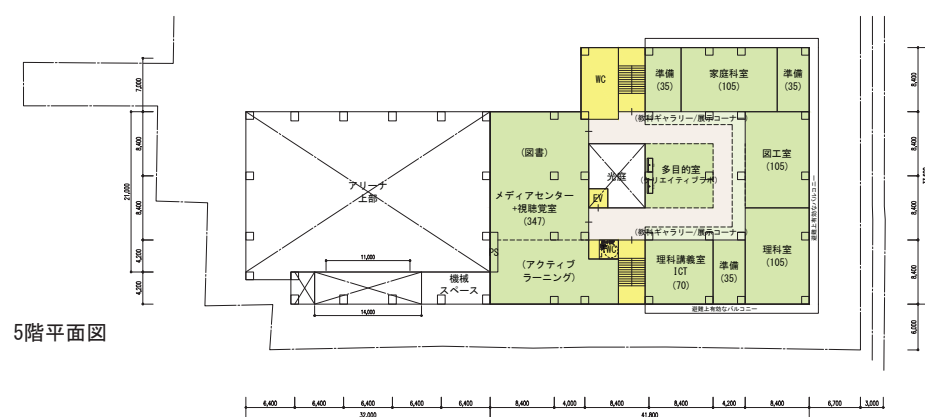
平面图



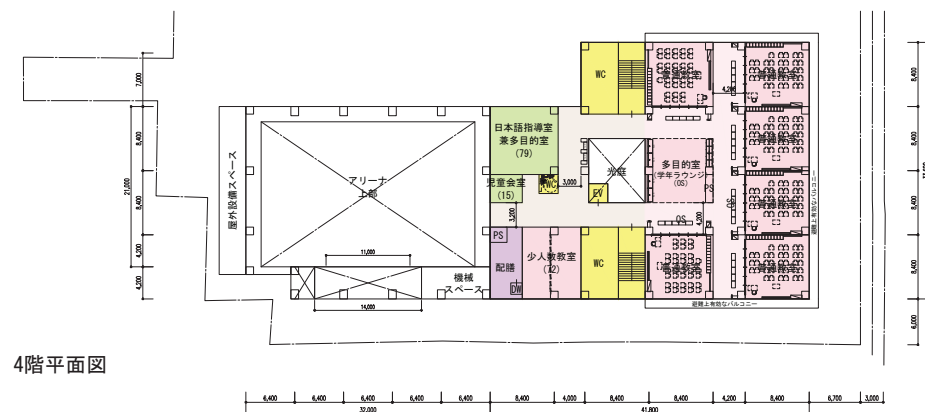
2階平面図



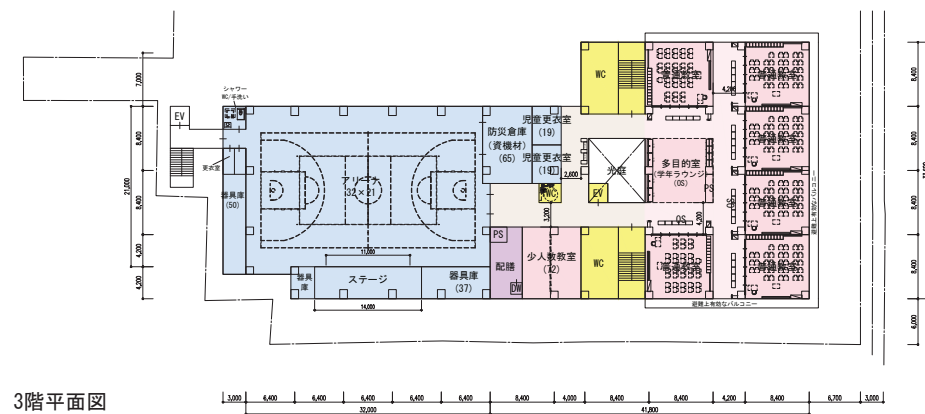
1階平面図



5階平面図

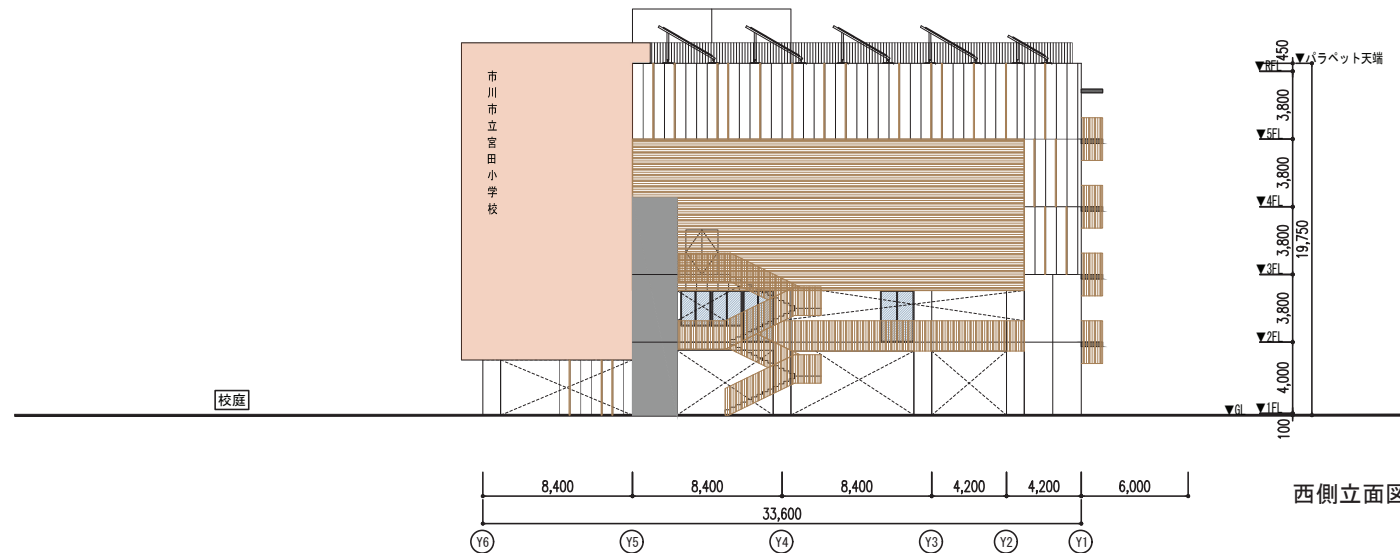
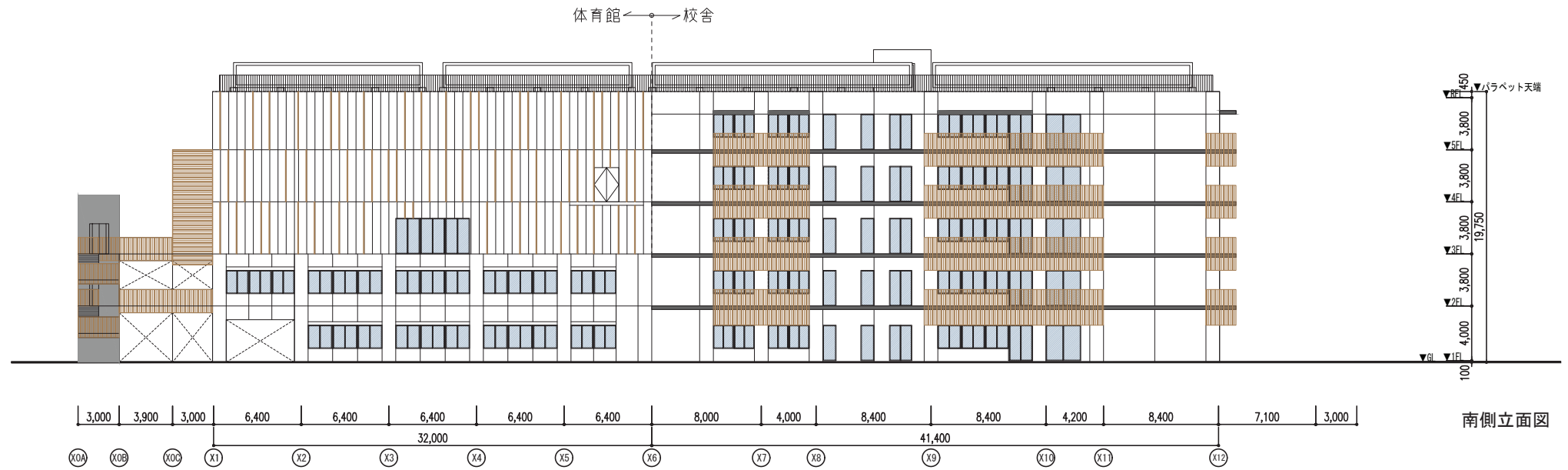


4階平面図



3階平面図

立面図



立面図

